

📅 11月9日 KKRホテル熊本

平成27年度市町村国保運営協議会委員並びに国保主管課長等合同研修会

国民健康保険制度の改革に向けて

公益社団法人国民健康保険中央会の柴田雅人理事長を講師に迎え、市町村の国保運営協議会委員177人と国保事務担当職員など73人、計250人が参加し開催された。

まず、主催者である熊本県国保運営協議会会長連絡協議会の江藤正行会長が挨拶に立ち、参加者の国保制度運営への尽力に対し敬意と感謝の言葉を述べるとともに、更なる協力をお願いした。



続いて、柴田氏が「国保をめぐる諸情勢について」と題し、5月に成立した持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険等の改正について講演した。

この改正は社会保障・税の一体改革から派生したものであるため、柴田氏はまずこの一体改革のポイントを説明した上で、今後の国保運営の目指すべき方向として○保険料負担と医療受診機会の公平性の確保○保険者が徴収した保険料の有効活用一を挙げ、その実現のために、公費拡充により財政基盤を強化するとともに、医療提供体制整備の責任を担う都道府県が国保の運営責任を担う必要があると述べた。さらに、公費拡充した場合に国保の財政状況がどう改善されるかや、保険者努力支援制度の概要、改革後の都道府県と市町村それぞれの役割などについて、わかりやすく説明した。



講演を行う柴田氏

📅 11月6日・27日 市町村自治会館

平成27年度第2回・第3回介護給付適正化システムによる提供情報活用研修会

介護報酬の改正に伴うシステムの機能拡充などを説明

県内の介護保険者（市町村）の介護給付適正化担当者を対象に、介護保険課が毎年開催しているもので、7月末の第1回研修会（初任者を対象にした適正化情報活用の基本的な内容）に続き開催。最終的に全3回で32保険者から延べ105人の参加があった。

第2回と第3回では、今年度の介護報酬の改正に伴う適正化システムの機能拡充が終了したことを踏まえて、拡充内容や活用方法などについて説明した。



📅 11月25日 市町村自治会館

平成27年度広報委員会

多様な媒体による効果的な広報事業の展開などを審議

各地区（組合・県を含む。）代表の広報委員13人が出席して開催。河本英典委員長（熊本市国保年金課長）を議長に審議を行った。

【平成27年度広報共同事業、広報事業中間報告】

ほぼ例年どおりの事業を展開していることを事務局が報告した。

主な事業は次のとおり。

- イメージキャラクターを使ったテレビ・ラジオCMで、12月から今年度のキャラクター指原莉乃（HKT48）を起用して展開する
- インフォーマーシャルとして、保険者の保健師や国保担当者などの出演によるテレビ・ラジオCMを制作、放送する
- パブリシティとして、局アナウンサーの原稿朗読によるテレビ・ラジオCMを放送する
- 啓発ポスターとスイングポップを、特定健診受診促進と国民健康保険料（税）収納促進の2種類作成し、各保険者に（ポスターは県内各国保診療施設にも）配付する。

【平成28年度広報共同事業、広報事業計画】

例年どおり、テレビ・ラジオCMの制作・放送や、保険者向け・被保険者向けの各広報事業を行っていくことなどが承認された。

